

新規事業評価調査書

事業名	大阪府第二枚方警察署（仮称）新設整備事業
所在地	交野市倉治1
事業内容	<p>枚方警察署は、枚方市と交野市を管轄区域とし、その面積は約 90km² と広く、また、大阪近郊の住宅都市として急速に発展したため、両市合わせた管内人口は、約 48 万人にも上り、府下 64 警察署の中でもトップであり、さらに、事件・事故等の発生件数もトップクラスである。そのため、各種申請・届出の受付窓口が滞留し府民に負担を強いる状況にあるほか、警察官が現場に到着するまでの時間がかかるなど、府民サービスの面や効率的な警察活動を推進する上で大きな支障が生じている。</p> <p>そこで、管内の人口・世帯数や事件・事故等の発生状況を踏まえ、管轄区域を分割し、新たな警察署を設置することにより、府民サービスの向上と警察活動のさらなる効率化を図り、警察の機動力を充実・強化するものである。</p>
	<p>【新庁舎】</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設予定地 交野市倉治1（民有地） 敷地面積 約 3,500 m²（予定） 鉄筋コンクリート造 5階建 約 5,500 ～ 6,000 m²（想定） <p><参考></p> <ul style="list-style-type: none"> 用途地域 市街化調整区域 指定容積率 200% 指定建ぺい率 60%
	<p>事業費 約 25 ～ 30 億円（想定）</p>
	<p>維持管理費 約 2,300 万円 / 年</p>
	<p>関連事業 なし</p>
上位計画等の位置づけ	<p>【大阪の再生・元気倍増プラン（大阪 21 世紀の総合計画）】</p> <p>第 5 章 基本計画</p> <p>第 3 節 大阪づくりの取り組みとその体系</p> <p>第 3 項 安全を支え、安心をはぐくむ</p> <p>4 安全な暮らしを支える基盤づくり</p> <p>(3) 犯罪等のない地域社会づくり</p> <p>取り組みの基本方針</p> <p>誰もが犯罪などについて不安を感じない安全なまちづくりをすすめます。</p> <p>取り組みの方向</p> <p>警察活動基盤の整備</p> <p>複雑・多様化した各種犯罪に迅速・的確に対応し、府民の暮らしの安全を守るため、組織・人員の犯罪対処能力を向上します。また、警察施設や装備資器材の近代化などをすすめ、「ひと」「もの」の両面から、犯罪防止及び犯罪捜査の体制を充実・強化します。</p>

優先度	<p>【管轄区域分割の基本的な考え方】</p> <p>警察署の管轄区域は、警察の任務を能率的に遂行することができるように、人口、他の官公署の管轄区域、交通、地理その他の事情を参しゃくして決定し、また、警察署の位置は、管轄区域内の住民の利用に最も便利な場所を選定する。</p> <p>警察署の管轄区域を分割するに当たっては、管内面積の広さや、人口の多さという単純な理由により分割するものではなく、事件・事故等の発生状況を見て、交番の新設、警察官の増員、パトカー等機動力の確保など、警察体制の強化を図りつつ、その効果を検証する。</p> <p>その上で、分割を行う必要があると判断した場合には、警察署への交通機関など住民の利便性、主要道路へのアクセスなど機動力の確保、管轄区域内の位置関係などを考慮し、管轄境界線を決定した後、警察署の候補地を選定する。</p> <p>【優先度】</p> <p>枚方警察署は、府下第 1 位の管内人口を受け持つ警察署であり、 交番の新設 ... H2 年 5 月、長尾交番 H3 年 4 月、北楠葉交番 H7 年 4 月、交野市駅前交番（特例交番）</p> <p>警察官の増員（建設当時（昭和 55 年）に比べ約 150 名増員） パトカー等機動力の確保（38 台。うちパトカー 7 台）</p> <p>など、まず警察体制の強化を図りつつ、その効果を検証してきた。 しかしながら、枚方警察署管内の平成 17 年における治安情勢は、 刑法犯認知件数 ... 8,493 件（府下 64 警察署中第 2 位） 交通事故件数 ... 3,533 件（同第 1 位） 110 番受理件数 ... 29,014 件（同第 1 位）</p> <p>など、もはや、府民の期待に十分に答える処理能力をはるかに超えた厳しいものがあり、各種申請・届出の受付窓口が滞留し府民に負担を強いる状況にあるほか、警察官が現場に到着するまでの時間がかかるなど、警察官の増員等警察体制の強化を図るだけでは解消できないため、優先度は非常に高いものである。</p>									
	<p>【予定年度】</p> <table border="0"> <tr> <td>平成 18 年度</td> <td>土地測量、不動産鑑定</td> </tr> <tr> <td>平成 19 年度</td> <td>用地取得、基本計画</td> </tr> <tr> <td>平成 20 年度</td> <td>基本設計、地質・測量調査</td> </tr> <tr> <td>平成 21 年度</td> <td>実施設計、周辺家屋調査及び電波障害調査（事前）</td> </tr> <tr> <td>平成 22 年度</td> <td>新庁舎建設工事</td> </tr> </table> <p>平成 24 年度 新庁舎完成、周辺家屋調査及び電波障害調査（事後）</p> <p>【効果】</p> <p>第二枚方警察署（仮称）は、現枚方警察署との管轄境界線を国道 1 号から府道枚方交野寝屋川線を経て、枚方市・交野市行政境界線とし、枚方市東部地域及び交野市全域を管轄区域とし、面積は現行の約 55%、管内人口は 35%、事件・事故件数は 30%程度となる見込みである。</p> <p>第二枚方警察署（仮称）は、管轄区域のほぼ中央（JR 津田駅付近）に整備し、来庁者用駐車場や駐輪場、エレベーター等の設置により府民の利便性が向上するほか、事件・事故等の発生時における早期の現場到着が期待できるなど、警察活動の効率化が図れる。</p>	平成 18 年度	土地測量、不動産鑑定	平成 19 年度	用地取得、基本計画	平成 20 年度	基本設計、地質・測量調査	平成 21 年度	実施設計、周辺家屋調査及び電波障害調査（事前）	平成 22 年度
平成 18 年度	土地測量、不動産鑑定									
平成 19 年度	用地取得、基本計画									
平成 20 年度	基本設計、地質・測量調査									
平成 21 年度	実施設計、周辺家屋調査及び電波障害調査（事前）									
平成 22 年度	新庁舎建設工事									
事業の進捗予定										
完成予定年	平成 24 年度									

事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	<p>枚方警察署は、現在、署員数約 450 人で、建設当時（昭和 55 年）と比較すると約 150 人増加している。</p> <p>平成 7 年 4 月には、通常の交番機能に運転免許証更新等の事務を行う特例交番として、交野市駅前交番（通称：星のまち交番）を設置し、府民の利便性を図っている。</p> <p>枚方警察署管内には、国道 1 号・170 号・307 号、府道京都守口線、交野久御山線などが通じ、加えて交通機関として京阪本線・交野線、JR 学研都市線があり、大阪と京都を結ぶ交通の要衝となっているため、平成 17 年における交通事故件数は 3,533 件で、2 番目に多い茨木警察署（2,301 件）を大きく上回っている。</p> <p>管内面積は、90.63km²と府下第 6 位の広さで、その地域特性も商業地、企業団地、住宅街、農山村と様々であり、これら地域特性に応じた警察諸対策を講じる必要があるなど、大きな負担となっている。</p>			
	地元等の協力体制	<p>これまで、枚方市、交野市から二署体制について強い要望がなされており、特に、府議会においても二署体制について質問・要望等がなされている。</p> <p>枚方警察署の管轄区域の分割については、管轄境界線を国道 1 号から府道枚方交野寝屋川線を経て、枚方市・交野市行政境界線とすることで、枚方・交野両市の合意を得ている。</p> <p>なお、両市においては、住民の利便性の向上や生活の安全を確保するためにも、新しい警察署の早期整備が望まれている。</p> <p>枚方警察署の二署体制に係る新しい警察署の候補地説明会を、枚方・交野両市と開催し、地元住民からは、特に反対意見等もなく、概ね同意を得ている。</p>			
事業効果の定量的分析	費用便益分析	具体的な便益内容	受益者	費用便益費	備考
	その他の指標（代替指標）	なし			
事業効果の定性的分析	安心・安全	<p>管轄面積がコンパクトになり警察官が現場に到着するまでの時間が短縮されることにより、効率的な警察活動の推進及び管内治安の確保が期待できる。</p> <p>耐震性能に優れた庁舎を整備することにより、災害発生時における対策拠点が増え、住民の安心感が増大する。</p>			
	活力	<p>新設することにより、警察職員の過度の負担が軽減できるほか、良好な勤務環境を構築し、士気を高揚させる。</p> <p>留置場・取調室等を整備することにより、第二枚方警察署だけではなく、大阪府警全体の留置場不足の緩和が図れる。</p>			

快適性	エレベーターや障害者用トイレの設置、バリアフリー化や分煙化等により、高齢者や障害者をはじめとする住民にやさしい警察署庁舎が実現できる。
	来庁者用駐車場及び駐輪場の整備により、府民サービスの向上が図れる。各種申請・届出の受付窓口の滞留が解消される。
その他	現行の枚方警察署の狭隘が改善できる。
自然環境への影響と対策	<p>【自然環境への影響と対策】</p> <p>本事業予定地は、現在、第二京阪道路建設工事の工事用進入路となっており、自然環境に影響を与えることはない。</p> <p>大阪府自然環境保全条例に定める敷地面積の 20%の緑被率を上回るよう、植栽を行う予定である。また、交野市開発指導要綱（敷地面積 3%の公園・緑地を整備）を遵守するなど、緑の回復に努める。</p> <p>【産業廃棄物等のリサイクル】</p> <p>新築工事に当たっては、再生材の利用に配慮する。</p>
代替案との比較検討	<p>【管轄区域の分割の必要性】</p> <p>警察署の管轄区域を分割するに当たっては、まず警察体制の強化を図りつつ、その効果を検証するが、枚方警察署については、もはや、府民の期待に十分にこたえる処理能力をはるかに超えた厳しいものがあり、警察体制の強化を図るだけでは解消できないため、分割を行う必要があると判断した。</p> <p>【管轄境界線の検討】</p> <p>新しい警察署の管轄区域については、警察署への交通機関など住民の利便性、主要道路へのアクセスなど機動力の確保、その他（管轄区域内の位置関係）などを考慮し、国道 1 号から府道枚方交野寝屋川線を経て、枚方市・交野市行政境界線を管轄境界線とし、枚方市東部地域及び交野市全域を管轄区域とした。</p> <p>【候補地の選定】</p> <p>新しい警察署の候補地については、枚方・交野両市その他関係機関等との折衝、調整を経ながら、住民の利便性、警察の機動力などを総合的に検討した結果、管轄区域の中心地である JR 津田駅に近く、府道交野久御山線に面し、かつ将来、第二京阪道路へのアクセスも容易な位置として、交野市倉治 1 を選定した。</p>
その他特記すべき事項	なし